

亀岡市セーフコミュニティ交流会

ふじろ交流まちづくり



セーフコミュニティは、事故などによるけがは偶然の結果ではなく、予防できるという考えのもと、行政と地域住民との協働により、安心して安全に暮らすことができるまちづくりを進めるものです。この交流会は、韓国と台湾で活躍されている2人の指導者をお招きして、セーフコミュニティについて意見交換を行い、亀岡市における取組を推進しようとするものです。ぜひ御参加ください。



参加費無料

平成19年3月18日(日)

13:00~15:00

(開場12:30から)

亀岡市役所市民ホール

交流会プログラム

基調講演

韓国のセーフコミュニティについて(仮題)

Joon Pil Cho(趙 竣必)

韓国亜州大学病院救急医療部長及び教授、外傷予防・地域安全向上センターディレクター

台湾のセーフコミュニティについて(仮題)

Lu Pai(白 璐)

台湾国立防衛医療研究所公衆衛生学部助教授、台湾外傷予防・安全向上協会(TIPSA)会長、台湾社会安全推進センター(TSPCS)ディレクター

報告

セーフコミュニティと亀岡市の取組(仮題)・・・亀岡市

外傷データから見た亀岡市の現状報告(仮題)・・・京都府

交流会

市民のみなさんとセーフコミュニティについて意見交換

講演者プロフィール

Joon Pil Cho(趙 竣必)

・1999年より韓国において「セーフコミュニティ」活動を推進している第一人者。

スウォン(水原)市の「セーフコミュニティ」プログラムを指導・支援し、韓国初の「セーフコミュニティ」認証に導いた。現在では、ソウルやチェジュ島を含む5つのコミュニティの「セーフコミュニティ」活動を指導・支援している。

Lu Pai(白 璐)

・アメリカのジョンホプキンス大学で外傷予防を学ぶ。台湾に「セーフコミュニティ」プログラムを導入した第一人者。彼女らの指導・支援により、台湾では、現在4地域が「セーフコミュニティ」に認証されている。台湾では、彼女がディレクターを務める TIPCS を中心に「セーフコミュニティ」活動が展開、現在では10のコミュニティが活動に取り組んでいる。

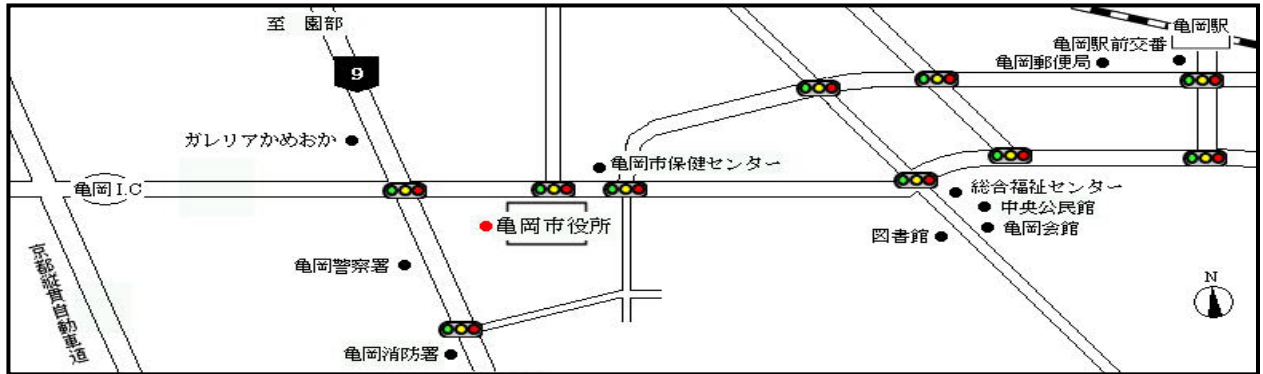
会場へのアクセス

亀岡市役所市民ホール 京都府亀岡市安町野々神 8 亀岡市役所 1 F

J R 亀岡駅から徒歩 15 分

J R 亀岡駅からコミュニティバスで 5 分「市役所」下車

路線バス（京阪京都交通）で「亀岡市役所前」下車



参加申し込み方法

【お申し込み方法】

参加ご希望の方は、住所、氏名、電話番号をご記入の上、FAX（郵送も可）またはメールで 3 月 15 日までにお申し込み下さい。なお、席に限りがございますので、定員になり次第締め切らせていただきます。

【お申し込み・問い合わせ先】

〒621-8501 亀岡市安町野々神 8

亀岡市企画管理部企画課（担当：田中）

TEL:0771-25-5006 FAX:0771-24-5501

e-mail:kikaku-soumu@city.kameoka.kyoto.jp

〒602-8570 京都市上京区藪之内町

京都府企画環境部企画参事付（担当：八田）

TEL:075-414-4344 FAX:075-414-4389

e-mail:kikaku@pref.kyoto.lg.jp

参加申込書

亀岡市企画課 行 FAX 0771-24-5501

京都府企画参事 行 FAX 075-414-4389

どちらに送っていただいても結構です。

平成19年3月18日(日) 亀岡市セーフコミュニティ交流会 参加申込書

住所	
氏名	電話 ()
住所	
氏名	電話 ()
住所	
氏名	電話 ()
住所	
氏名	電話 ()
住所	
氏名	電話 ()